

院生会活動内容

院生会は三鷹国際学生宿舎に居住する大学院生で構成されています。院生会では互いに協力をしながら、様々な活動を行っています。ここでは近年の活動を紹介します。基本的な活動は以下の4つになっています。

【留学生受け入れ】

4月と9月に、新入留学生の受け入れを行います（詳細は後述）。

【チュータールーム (TR)】

基本的に留学生の生活全般、学習面のサポートを行うため、TRを開いています。日本語の宿題、撤去された自転車の引き取り、自転車や家電の購入方法など、様々な相談を受けています。また、相談ではなくおしゃべりに来る留学生もおり、留学生との交流の場としての役割も担っています。Wi-Fiの貸し出し、駐輪場の契約や銀行の口座開設にも付き添い、適宜柔軟に対応しています。また、チューターのメールアドレスに届く留学生の様々な相談や要望にも対応しています。そのほかにも、イベントメーリングリストの運営で、宿舎でのイベントについて情報周知も行っています。

【月例会】

月に1度、院生全員が集まって月例会（院生のミーティング）を開催します。ここでは予算、各種行事に関する事など、院生会の活動について話し合います。

【各種交流イベント】

宿舎生と留学生の交流の場となるイベントを実施します。

以上の活動は基本的に院生会全員で取り組んでいます。2018年度には、以下のような活動を行いました。

4月: 新入留学生受け入れ・歓迎会

新規の入寮留学生を対象に、宿舎やその周辺の情報の提供、また生活全般に関わる宿舎の規則（ゴミの捨て方、火気に関する注意）などを説明します。宿舎や大学での生活に早くなじんでもらうこと、またチューターの顔をなるべく早く留学生に覚えてもらい、円滑にサポートをするための基盤をつくることを目的としています。説明は日本語、英語で行います。留学生と新入居者のための歓迎会も実施します。

7月末: Farewellパーティー

7月末~9月末に退寮する留学生の送別会を行いました。

9(10)月: 新入留学生受け入れ・歓迎会

秋にも数十人（約100名）の留学生が新たに入居します。4月期と同様に、宿舎生活の説明を行い、宿舎周辺、吉祥寺駅への案内をするツアーを行いました。

院生会は、4月・9月の受け入れに限らず、留学生が日常生活に早く慣れてもらえるよう、手伝いをしています。バスの乗り方や、買い物の会計、ごみ捨て、ATMの振り込みなど、留学生にとっては自分の国とは違うことが多いので、特に、日本語が話せない留学生は、戸惑うことが多いようです。留学生が多く来る、4月と9月の初めには、一緒に買い物に行ってほしいと頼まれることもあります。

各種イベントやその他の行事では、企画や広報活動、実施のすべてを院生で行っています。形にはまることなく、みんなでアイデアを出し合って実行しています。留学生の生活を手伝ったり、相談や質問を聞いた中で、自分の親しんできた文化のバイアスの存在を初めて認識することも多く、チューターをしていると、とても勉強になります。物事を企画・実行する力のある院生が入ってきてくれると、とてもありがたいです。